

科目名	文学国語			学年	類型・コース	単位数
				2年	全員履修・普通	2単位
学習の目標	様々な文学的な文章に触れて、生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深める。					
教科書	主たる教材：「高等学校標準文学国語」（第一学習社）					
副教材	副教材：「現代語練習帳ことのは」（いっずな書房）「明鏡国語辞典」（大修館書店）					
評価	評価法	課題考査・定期考査・小テスト・各種課題・ノート等で評価します。				
	評価観点の趣旨	a	知識・技能	社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けているとともに、我が国の言語文化に対する理解を深める。		
		b	思考・判断・表現	「読むこと」「書くこと」の領域において豊かに想像する力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高める。		
		c	主体的に学習に取り組む態度	言葉を通して積極的に他者や社会に関わり、ものの見方、感じ方、考え方を深めながら、言葉の持つ価値への認識を持とうとしている。		
	上に示す観点に基づいて、各観点で評価し、学期末に観点別学習状況の評価（A、B、Cの3段階）および評点（1～10の10段階）にまとめます。学年末には観点別学習状況の評価（A、B、Cの3段階）および評点（1～5の5段階）にまとめます。					

期	月	時 数	学習項目・単 元	学習内容	評価方法		
					a	b	c
1 学 期	4 月	6	江國香織「デューク」 「私」の心理の変化を読み取り、文学的表現を味わう。	作品の描写の仕方や表現の特色を的確に捉えながら、「少年」との交流による「私」の心理の変化と、デュークの死を受け入れるまでの過程を読み取る。【読むこと】	課題 考査 定期 考査 小テ スト	課題 考査 定期 考査 課題	ノート 課題 発表
	5 月	8					
	6 月	8	吉野弘「生命は」 現代詩を表現に即して読み取る。	詩の構成や比喩などの表現に注目して読み、作者の捉え方を理解する。【読むこと】			
	7 月	4	言語活動 「夏の俳句」を作る	俳句を作って発表し、相互に批評し合う。【書くこと】			
夏休み				1学期の内容をもとに課題			
2 学 期	9 月	8	夏目漱石「こころ」 近代の小説を読み、人や社会についての見方や考えを深める。	物語の展開と出来事を整理しながら、「私」と「K」のそれぞれの心情をつかむ。【読むこと】 作品の解釈を踏まえて、人間や社会などに対するものの見方、感じ方、考え方を深める姿勢を養う。 作品に関連のある事項について調べ、その成果を文章にまとめたり発表したりする方法を考える。【書くこと】	課題 考査 定期 考査 小テ スト	課題 考査 定期 考査 課題	ノート 課題 発表
	10 月	8					
	11 月	8					
	12 月	4					
冬休み				2学期の内容をもとに課題			
3 学 期	1 月	6	角田光代「旅する本」 短編小説の特色を理解し、主人公の変化を読み取る。	短編小説の特色を理解し、本との再会を繰り返すたびに実感される「私」の変化を読み取る。【読むこと】	課題 考査 学年末 考査 小テ スト	課題 考査 学年末 考査 課題	ノート 課題
	2 月	6					
	3 月	4					

担当者からのメッセージ（学習方法など）
毎時間授業の始めに漢字の小テストを実施します。忘れ物や課題の提出状況は、評価に大きく影響します。積極的な授業への参加を期待します。